

学習目標（「身につけたい力」）

- ・社会生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
- ・言葉がもつ価値を認識しようとするとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする態度を身に付ける。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間 140時間	年間 140時間	年間 105時間
1学期	<p>「朝のリレー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を生かして音読します。 － 言葉に出会うために － 「野原はうたう」 ・情景や心情を想像しながら音読します。 1 学びをひらく 「シンシュン」 ・心情表現に着目して読み、登場人物の気持ちの変化を読み取ります。 2 新しい視点で 「ダイコンは大きな根？」 ・わかりやすく説明するための筆者の工夫を見つけ、発表し合います。 「ちょっと立ち止まって」 ・段落に着目して読み、説明文の構成を捉えることを学習します。 *文法「言葉の単位」 ・言葉の単位について学習します。 ・文を文節に分け、主語・述語などの文の成分について学習します。 3 言葉に立ち止まる 「詩の世界」 ・比喩・反復・倒置・体言止めなどの表現技法について学習します。 ・詩の良さを発表します。 	<p>「見えないだけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を生かして朗読します。 ・表現技法の効果を考えます。 1 広がる学びへ 「アイスプラネット」 ・登場人物の設定に着目し、人間関係や、それぞれの考え方を読み取ります。 ・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読みます。 「枕草子」 ・作者の感じている四季の趣を想像力豊かに読み取ります。 ・リズムを意識しながら音読します。 ・時代、作者、作品の形式、内容を学習します。 2 多様な視点から 「クマゼミ増加の原因を探る」 ・グラフ・模式図・写真などの効果を考えます。 *文法「自立語」 ・単語には自立語と付属語があることを理解します。 ・「活用する」とはどういうことかを学習します。 3 言葉と向き合う 「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 「言葉の力」 ・短歌の基礎事項を学習します。 ・知識や経験と結びつけて読み深めます。 	<p>「世界はうつくしいと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を生かして朗読します。 1 深まる学びへ 「握手」 ・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考えます。 「学びて時に之を習ふ」『論語』から ・孔子の考え方を自分たちと関連づけて考えます。 2 視野を広げて 「作られた『物語』を超えて」 ・文章における具体と抽象の関係を捉えます。 3 言葉とともに 「俳句の可能性」 「俳句を味わう」 ・俳句の特徴について理解を深めます。 ・俳句に表現されている季節や情景、作者の思いなどを捉え、朗読したり、鑑賞文を書いたりします。 ・俳句を創作します。 *修学旅行記を創ろう。 ・修学旅行で心に残った出来事から題材を選び、読み手に効果的に伝わる工夫をしながら文章にまとめます。 *実用的な文章を読もう。 ・情報を伝えるための工夫を理解し、生活の中での活用の仕方を考えます。

	<p>「比喻で広がる言葉の世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喻について学習し、使ってみます。 <p>*読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書体験などを交流し、読書の楽しさを体験します。 ・読書感想文（夏休みの課題） <p>*俳句</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句の基本的な約束事を知り、夏の俳句を詠みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな短歌を選び、鑑賞文を書きます。 <p>*読書生活を豊かに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書体験などを交流し、読書の楽しさを体験します。 <p>読書感想文（夏休みの課題）</p> <p>*俳句</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句の基本的な約束事を知り、夏の俳句を詠みます。 	<p>*読書生活を豊かに</p> <p>「読書を楽しむ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書体験などを交流し、読書の楽しさを体験します。 <p>「読書案内」</p> <p>読書感想文（夏休みの課題）</p>
2 学 期	<p>4 心の動き</p> <p>「大人になれなかった弟たちに……」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を確認し、登場人物の心情を捉えます。 <p>「星の花が降るころに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物の心情を表す表現に着目して読み、表現技法についても理解を深めます。 <p>5 筋道を立てて</p> <p>『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について学習します。 <p>「大阿蘇」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読します。 <p>6 いにしえの心にふれる</p> <p>「いろは歌」</p> <p>「古典の世界」</p> <p>「蓬萊の玉の枝」</p> <p>「今に生きる言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に関心を持ち、言葉の響きや調子に読み慣れることをねらいとして学習します。 ・故事成語の意味や用法を調べて発表します。 <p>7 価値を見いだす</p> <p>『不便』の価値を見つめ直す」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理法、引用のしかたや出典の示し方について理解を深めます。 <p>*文法「文の組み立て」</p>	<p>4 人間のきずな</p> <p>「盆土産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人柄や思いを読み取ります。 <p>「字のないはがき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の父への思いを読み取り自分の言葉で伝えます。 <p>5 論理を捉えて</p> <p>「モアイは語る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係に注意しながら、筆者の意見を読み取ります。 <p>6 いにしえの心を訪ねる</p> <p>「源氏と平家」</p> <p>「扇の的」</p> <p>「仁和寺にある法師」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを意識しながら音読します。 ・時代、作者、作品の形式、内容を学習します。 ・情景を想像しながら読み、人物の心情を考えます。 <p>「漢詩の風景」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを意識して音読します。 ・時代、作者、作品の形式、内容を学習します。 ・漢詩の基礎知識を学習します。 ・描かれている情景を想像し、作者の心情を読み取ります。 <p>7 価値を語る</p> <p>「君は『最後の晩餐』を知っているか」</p> <p>「最後の晩餐」の新しさ</p>	<p>4 状況の中で</p> <p>「挨拶」原爆の写真によせて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喻や象徴的な表現に着目し文脈の中での意味を考えます。 <p>「故郷」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の舞台や時代背景を確認します。 ・作品に表現されている主張や作者の意図を読み取ります。 <p>5 自らの考えを</p> <p>「人工知能との未来」</p> <p>「人間と人工知能と創造性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性を確かめながら読みます。 ・2つの文章を比較して読みます。 <p>6 いにしえの心を受け継ぐ</p> <p>「和歌の世界」</p> <p>古今和歌集 仮名序</p> <p>「君待つと」</p> <p>万葉・古今・新古今</p> <p>「夏草」</p> <p>『おくのほそ道』から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容や作者の気持ちを読み取ります。 ・作品の成立年代、作者について学習します。 ・表現技巧や文体について学習します。 ・冒頭文を暗誦します。 <p>7 価値を生み出す</p> <p>「誰かの代わりに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見を持ちます。 <p>*書写（毛筆：書き初め）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・文の成分と連文節について学習します。 *書写（毛筆：書き初め） ・お手本をしっかりと見て、筆遣いに注意して書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの文章を比較して構成や特徴について気づいたことを交流します。 *文法「用言の活用」 ・用言の活用について学習します。 「百人一首」 ・百人一首に親しみ、競技を楽しみます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆遣いに注意して書きます。 *読書に親しむ 「本は世界への扉」 ・さまざまな国や地域で活動する人たちが捉えた世界の姿を感じてみます。 「読書案内」
3 学 期	<p>「百人一首」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首に親しみ、競技を楽しみます。 <p>8 自分を見つめる</p> <p>「少年の日の思い出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成に注意して読み、人物像や登場人物の心情の移り変わりを読み取ります。 <p>*文法「単語の分類」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立語と付属語、名詞とその種類について理解を深めます。 <p>「随筆二編」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の思いや考えについて感想を交流します。 <p>*国語の学びを振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を振り返り、まとめ、交流します。 <p>*漢字学習（通年）</p> <p>漢字学習に取り組み、小テストで確認し、定着を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *書写（毛筆：書き初め） ・お手本をしっかりと見て、筆遣いに注意して書きます。 <p>8 表現を見つめる</p> <p>「走れメロス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描写や会話に着目し、登場人物の人物像の変化を読み取ります。 ・登場人物の生き方、考え方について、自分の考えをもつことをねらいとします。 <p>*文法「付属語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞と助詞について学習します。 <p>*読書に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書体験などを交流し、読書の世界を広げます。 <p>*国語の学びを振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を振り返り、まとめ、交流します。 <p>*漢字学習（通年）</p> <p>漢字学習に取り組み、小テストで確認し、定着を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *文法「ない」の違い ・「ない」の働きや性質を学習します。 <p>8 未来へ向かって</p> <p>「温かいスープ」</p> <p>「わたしを束ねないで」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んでそれぞれのテーマについて考え、感想を書きます。 <p>*「卒業文集」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「十年後の自分への手紙」を書き、未来の自分像を描きます。 <p>*3年間の総復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かし、さまざまな課題に取り組みます。 <p>*漢字学習（通年）</p> <p>漢字学習に取り組み、小テストで定着と活用を図ります。</p>

評価の観点と評価内容の予定

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な 評価 方法 と その 内容	全 学 年 共 通 ○授業観察 ○小テスト ○聞き取りテスト ○発言・発表 ○朗読・暗誦 ○書写 ○ノート学習 ○提出物（ワークなど） ○定期考査	○授業観察 ○発言・発表 ○提出物（ワークなど） ○定期考査 ○作品 ○感想文・意見文	○授業観察（授業への取り組み） ○小テスト ○課題への取り組み状況 ○ノート学習・ ○提出物（ワークなど）